

第5学年1組 総合的な学習の時間 三国の農業を盛り上げようプロジェクト

学習活動・予想される児童の反応

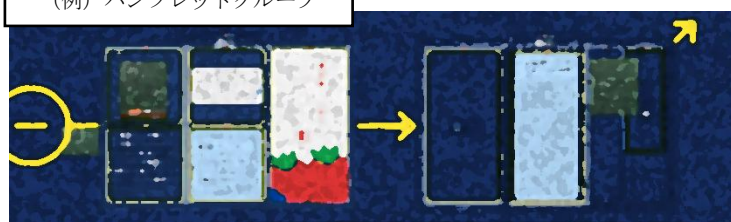
- 1 グループごとに作成している〇〇〇〇PRプランの進行状況を振り返り、めあてをつくる。



めあてベリー畑PRプランを見直し、もっとよくなる方法を考えよう。

- 2 自分たちのグループが作っている〇〇〇〇PRプランを視点をもとに見直し、グループで改善策を話し合う。

(例) パンフレットグループ



私たちのグループはパンフレットを作って、思いやよさを伝えることにしたけれど、一番伝えたいことは、なんだろう。

具体的な内容になっているかな。良さを伝えるために、もっと〇〇〇〇の情報がほしいな。

(例)

見つけた課題	改善策
具体的な内容になっていない。	取材メモをもう一度読み返したり、HPを見てみたりして、情報を増やそう。
一番伝えたいところが、どこか分らない。	伝えたいところは、枠を大きくしたり色を変えたり、目立たせる。写真や絵を多く載せる。
生産者の立場の人たちは分かりそうだけど、地域の人たちには、分かりにくそう。	具体的な内容にする。簡単な言葉に言い換える。

- 3 各グループごとに、本時で話し合った改善策から、計画書を振り返り、次時の学習への見通しをもつ。

- ・今日、「具体的な内容になっていない」という課題が見つかったから、次回は、画用紙に書き出す前に、もう一度取材メモを読み返したり、HPを見たりして、情報を集める時間をつくろうと思う。
- ・難しい言葉が多くて、地域の人たちには、分かりにくそう。次の時間、難しい言葉を調べて簡単な言葉に言い換える作業をする時間を作ろうと思う。大人にも子どもにも見てほしいな。

本時見られた深く学び続ける子どもの姿

- 各グループごとに計画書を作って、伝えたい内容や、今後の活動の流れを自分たちで考えて決めていたため、各自で進行状況を振り返り、めあてを立てる姿が見られた。

- 自分たちの「〇〇〇PRプラン」の話合いにおいて、視点を5つ示し、まずは個人、そしてグループと二段階にわけて、振り返りをしたことで、視点をもとに各グループが、現段階のPRプランを見直し、足りない部分に気付いたり改善点を出し合ったりする姿があった。

T：5つの視点をもとに、自分たちの現段階のPRプランを見直してみよう。

C1：もっと面白くしたいな。

C2：私たちが伝えたい内容は、〇〇さんのこだわりや、〇〇〇の良さだね。面白さって必要な？

C3：面白くしすぎると、良さが目立たなくなってしまうのかな？

見つけた課題	改善策
パンフレットで一番伝えたいことを明確にする。	・表紙を面白くする ・面白くしすぎるとベリー畑の良さが消える→面白さを少し少なくする ・いちばんどれを目立たせるかを決める
伝えたい相手に合ったものになっているか。	・地域の人に伝えたい→地域の人はいっぱいいるから広めたい ・今のパンフレットを見たときに地域の人に合ったものかをもう一度考える
チームのめあてに沿っているか。(ベリー畑に行きたくなくなるようなパンフレットを作る)	・来てほしいということがあまりのっていない ・来てほしいということを伝える
の良さが入っていないから、イチゴの良さをもっと伝えたい。	

【資料1 視点をもとに課題を見つけたグループの改善策カード】

- 各グループ、「計画書」を作り、グループごとに、めあてや伝えたい内容、今後の見通しを立てていたことで、自分たちで内容を分担したり、時間を調整しながら取り組む姿が見られた。
- 自分たちは良いと思って作っているプランのため、グループによっては、課題があまり出せないグループや、何に手をついたら良いか分からず、作業が止まっているグループもあった。自分たちで自分たちのプランを見直すのではなく、他グループのプランを見る時間を設けたり、実際に様々なお店のチラシやパンフレットなどを見せて、自分たちが作っているプランと比較させたりする手立てが必要であると感じた。